

目 次

I . 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1 . 南紀熊野サテライトの紹介	1
2 . 2つの受講制度	2
3 . 受講モデル	4
II . 大学院科目等履修生の募集	5
1 . 出願および履修願の手続き	5
2 . 出願書類等	
㊦南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	7
㊧履歴書	8
㊨令和4年度後期検定料の納入について	9
㊩履修願	10
III . 学部開放授業受講者の募集	11
1 . 聴講申請の手続き	11
2 . 申請書類等	
㊪学部開放授業受講者聴講申請書(新規聴講生用)	13
㊫学部開放授業聴講申請書(登録有効期間中の聴講生用)	14
㊬令和4年度後期学部開放授業の聴講料の納入について	15
㊭学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV . 令和4年度後期 南紀熊野サテライト開講授業	16
1 . 大学院授業科目	16
2 . 学部授業科目	20

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

1. 南紀熊野サテライトの紹介

- 和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。
- 地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

地域課題に沿った科目を開講



大学院科目の様子



機材を使った演習の様子



学部開放科目の様子



「世界農業遺産」現地実習の様子

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」（※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」）があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。

令和4年度後期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上 ※高校生は「高校生を対象とした大学授業の公開制度」をご利用ください。 詳細は和歌山大学ホームページをご覧ください。 https://www.wakayama-u.ac.jp/scenter/class/koudai
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり（成績評価「合格」の者）	なし
費 用	検定料 5,000円 入学科 10,000円 授業料 14,400円（1単位につき） ※令和4年度より「履修できる期間」の制度廃止に伴い、履修期間（1学期又は1年）毎に検定料と入学科及び受講料を徴収します。 ただし経過措置として、令和3年12月31日時点において、履修できる期間の残期間がある科目等履修生については、有効期限までは今までどおりとします。（有効期限が2022年10月1日以降の科目等履修生は、検定料・入学科は不要です。）	聴講料 11,000円（1科目） ※令和4年度より登録料の制度が廃止されました。経過措置として、令和3年12月31日時点において、登録期間の残期間がある開放授業生については、従前の例による。（令和3年度後期に登録した方は令和7年度前期まで現システムが有効。1万円の授業料となります。）
修士課程への進学	社会人特別選抜を経て、経済学研究科修士課程に進学することができます。	

大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院の授業を原則、土曜日の日中を中心に、Big・u(田辺市)で開講します。
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、所定の単位を取得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

- 1学期毎(通年科目は1年毎)に履修申請が必要です。
- 令和4年度前期より履修できる期間の制度(履修期間)が廃止され申請制度が変更されました。

【履修可能期間】

○初回の受講時に検定料と入学料を納入すると、「履修できる期間」として入学から2年間は、その後に受講しても検定料と入学料を免除してきましたが、令和4年度前期より「履修できる期間」の制度を廃止します。

ただし経過措置として、令和3年12月31日時点において、履修できる期間の残期間がある科目等履修生については、有効期限までは今までどおりとします。この場合、所定の履修願による手続きは必要ですが、検定料・入学料は必要ありません。

【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

令和3年度から経済学研究科改組に伴い、プログラム制となっています。経済学研究科に進学希望の方は、出願前に修了要件等について6ページの問い合わせ先までご照会ください。

○既修得単位認定制度

南紀熊野サテライトの科目等履修生が本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として認められることがあります。

○社会人短期履修制度

本研究科修士課程社会人特別選抜の出願資格を満たし、本研究科科目等履修生として6単位以上を修得していれば、通常は修了に2年かかる修士課程を、最短1年で修了することもできます。

※改組に伴い令和3年度以降は、「南紀熊野サテライトコース」を利用することはできなくなりました。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

○学部開放授業(連携展開科目)を土曜日の日中を中心にBig・u(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は2ページをご覧ください。)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。

○令和4年度前期より、申請制度が変更されました。(登録料制度の廃止)

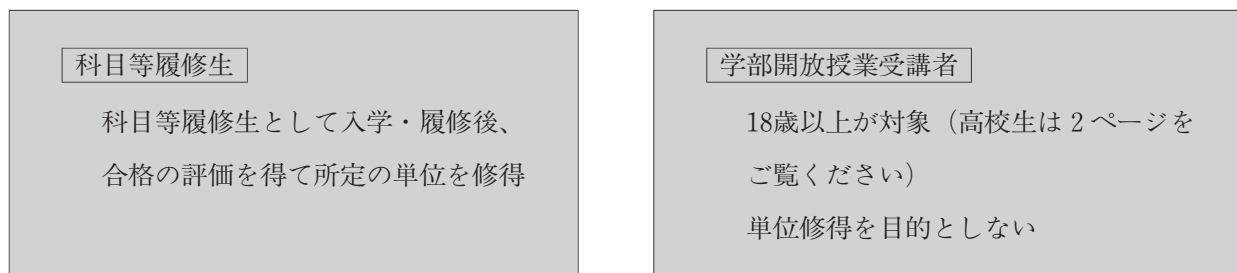
【受講可能期間】

○初回聴講からの4年間で「登録期間」として以降の登録料を免除してきましたが、令和4年度前期より登録料を免除する制度を廃止します。

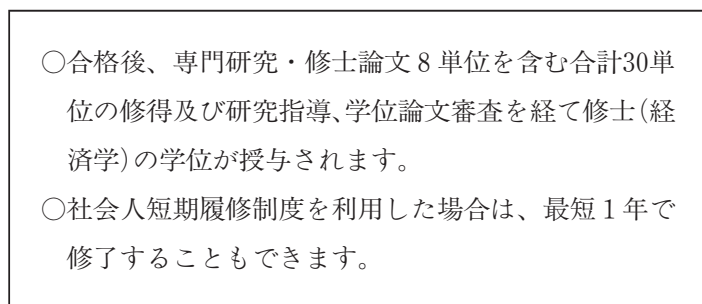
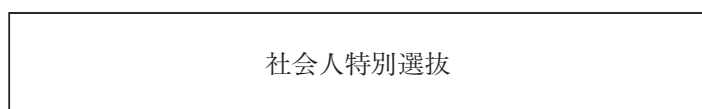
ただし経過措置として、令和3年12月31日時点において、登録期間の残期間がある開放授業生については、有効期限までは今までどおりとします。この場合、1科目あたりの受講料は10,000円となります。

3. 受講モデル

①自分のペースで、関心のある専門分野の知識や幅広い教養を身につけたい人



②さらに大学院経済学研究科修士課程に進み、修士(経済学)の学位取得をめざす人



■大学院へのステップ

南紀熊野サテライトで大学院科目等履修生として単位を修得した受講生の中から、大学院修士課程に進学され、修士(経済学)の学位を取得された方がいらっしゃいます。



II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、16ページ以降をご参照ください。

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和4年度後期の授業は、対面授業を行いますが、以下の場合に遠隔授業(オンライン)に切り替えます。

- ・自治体に県域をまたぐ移動が自粛、規制されている場合、教員の出講を取消し遠隔対応にします。
- ・教員が新型コロナウイルスに罹患または濃厚接触者となり、自粛期間に授業が該当する場合は授業を延期して補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備して下さい。)

(各授業では、授業内容を録画することがあります。)

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

令和4年8月22日(月)～8月26日(金)(必着)

出願書類等を学務課学部支援室経済学部係宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

【新規に出願される方】

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学部支援室経済学部係にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

※入学資格②による志願者は、事前に審査を行いますので、出願開始1ヵ月前までに経済学部係に申し出をしてください。

○検定料

5,000円

○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙⑦)

振込依頼書(用紙⑧)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙④)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるよう必要な額の切手を貼ってください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

【過去に科目等履修生であった方】

過去に科目等履修生であった方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

【現在、科目等履修生である方】

令和3年度後期に登録した方は、令和5年度前期まで履修期間が有効です。

A. 履修可能期間中の方

○出願書類

「履修願」(用紙㊥)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

返信用封筒(結果通知用)

角型2号封筒(100g以内)に出願者の郵便番号・住所・氏名を記入し、簡易書留で返送できるような必要な額の切手を貼ってください。

B. 有効期限が2022年9月30日の方

有効期限が2022年9月30日の方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

注1：卒業(修了)証明書の原本は、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、9月14日(木)までに返信用封筒にて郵送します。届いていない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

令和4年9月15日(木)～9月16日(金)(必着)

手続書類を学務課学部支援室経済学部係まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学料および授業料

入学料 10,000円

授業料 14,400円(1単位につき)

詳細は、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となります。(入学手続後のキャンセルについては入学手続書類を確認してください。)

その他

- ・出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学部支援室経済学部係	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@ml.wakayama-u.ac.jp

南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名(署名) _____

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	アグリビジネス論	1
<input type="checkbox"/>	経済思想史	1
<input type="checkbox"/>	公益事業論	1
<input type="checkbox"/>	現代中国経済	1

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 令和4年10月1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名		男 ・ 女	写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦	年	月
		日	生
現住所	(〒	—)
		TEL.()
		—	
日中の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒	—)
		TEL.()
		E-mail.	
最終学歴 卒業証明書添付要		入 学	
		年	月
		卒 業	
	(年制)	
		年	月
勤 務 先 (在職者のみ)		年	月～

令和4年度後期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学部支援室経済部係(073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

切り取って、金融機関にお出しください。

C 票 振込金受付証明書

令和4年度後期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

令和4年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

切り離しのうえ願書の所定欄に貼付して提出してください。

A 票 振込依頼書

令和4年度後期入学検定料

依頼日	令和	年	月	日	振込指定
受取人	紀陽銀行	紀の川支店 (普)		0766935	金額
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学				現金
整理番号	5	6	1		内
フリガナ					取
志願者氏名					手数料
住所					5,000円
依頼人					円
					電信扱
					手数料
					5,000円
					円
					取納印

(取扱店保存)

* 金融機関へのお問い合わせ

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

履 修 願

和歌山大学長 殿

学 生 番 号 _____

氏 名 (署 名) _____

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	アグリビジネス論	1
<input type="checkbox"/>	経済思想史	1
<input type="checkbox"/>	公益事業論	1
<input type="checkbox"/>	現代中国経済	1

(: 該当するものに「レ」を記入してください。)

※有効期限が2022年9月30日の方は、用紙㊦を使用してください。

有効期限 (西暦) 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」
のコピー貼付欄

Ⅲ. 学部開放授業受講者の募集

1. 聴講申請の手続き

聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

※高校生は2ページをご覧ください。

募集科目および募集人数・会場

※この募集要項に掲載のシラバスは後日変更となる可能性があります。正式なシラバスは和歌山大学のホームページから確認してください。

※令和4年度後期の授業は、対面授業を行いますが、以下の場合に遠隔授業(オンライン)に切り替えます。

- ・自治体に県域をまたぐ移動が自粛、規制されている場合、教員の出講を取り止め、遠隔対応にします。
- ・教員が新型コロナウイルスに罹患または濃厚接触者となり、行動自粛期間に授業が該当する場合は、授業を延期して補講とします。

(オンライン授業に切り替わった際に必要な受信端末やネット環境は、各自で準備して下さい。)

※各授業では、授業内容を録画することがあります。

「暮らしと法律」

「「旅人」の哲学」

(30名程度)……田辺市会場〈和歌山県立情報交流センターBig・u〉

※お問い合わせは、会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

申請期間・方法

令和4年8月18日(木)～9月13日(火)(必着)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライトオフィス宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、9月13日(火)に限り、10時から17時まで受け付けます。

※必ず上記申請期間内に手続き(振込み等)してください。

(申請期間より前(8月18日より前)の申請(振込み等)は、正しく登録されないことがあります。)

(注)学部開放授業の開講日は、重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合は、ご注意ください。

必要となる書類等

1. はじめて聴講申請される方 2. 登録の有効期限が2022年9月30日以前の方	2022年10月1日現在、登録有効期間中の方
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者聴講申請書 (用紙㊶) <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・聴講料 { 11,000円 (1科目の場合) 22,000円 (2科目の場合) <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊷)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊶の所定の位置に貼付してください。</p> <input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊸ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用> (用紙㊷) <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・聴講料 { 10,000円 (1科目の場合) 20,000円 (2科目の場合) <p>→最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊷)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊷の所定の位置に貼付してください。</p> <input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊸ 郵便番号、住所、氏名を記入し郵送分の切手を貼付して、申請書類とともに必ず同封してください。切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。

[参考] 聴講料…授業料にかかわるものです。1科目につき11,000円です。登録有効期間中の方は1科目につき10,000円です

※受講登録後の払戻しはできません。

高校生を対象とした大学授業の公開制度(P.2)による高校生の受講料は別途設定されております。

和歌山大学ホームページよりご確認ください。

※改定があった場合は、改定後の金額とします。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(9月13日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig・u内	0739-23-3977 (fax 0739-23-3978) nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

なんらかの支援または情報保障が必要な方は、8月5日(金)までにご連絡ください。

フィールドワークに伴う保険料、交通費等諸費用は各自のご負担となります。

学部開放授業受講者聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄
(3 × 4 cm)

最近3ヶ月以内に
撮影の上半身正面
脱帽とする

申請者

フリガナ
氏名(署名) _____
 生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男・女)
 現住所(〒 _____)

 電話番号(_____) _____ 職業 _____
 携帯電話番号 _____
 E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) _____
 申請者との続柄 (_____)

※氏名の漢字は、本学の「教育サポートシステム」に登録できる漢字以外については代替の文字(カタカナを含む)となります。

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	暮らしと法律
<input type="checkbox"/>	「旅人」の哲学

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

以下、大学記入欄

学生番号: _____
 発行年月日: _____ 年 _____ 月 _____ 日
 有効期限: _____ 年 _____ 月 _____ 日

1科目 11,000円
 2科目 22,000円

新規聴講者
 振込金受付証明書
 貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙③)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

- ATMにて振込
- ネットバンキングにて振込

学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 _____

氏名(署名) _____

生年月日(西暦) _____ 年 _____ 月 _____ 日 (男・女)

現住所(〒 _____)

電話番号(_____) _____ 職業 _____

携帯電話番号 _____ - _____ - _____

E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏名(署名) _____

申請者との続柄 (_____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	暮らしと法律
<input type="checkbox"/>	「旅人」の哲学

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

有効期限(西暦) 20 _____ 年 _____ 月 _____ 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

1科目 10,000円

2科目 20,000円

登録期間中の聴講者

振込金受付証明書

貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

※ATM又はネットバンキングで振込まれた方は、下の□に✓を記入して下さい。

ATMにて振込

ネットバンキングにて振込

令和4年度後期学部開放授業の聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙②)での申請は聴講料11,000円(1科目につき)の計11,000円(2科目の場合は計22,000円)となります。
更新受講申請者(用紙③)での申請は聴講料10,000円(1科目につき)の計10,000円(2科目の場合は計20,000円)となります。

①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。

※ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ATM(現金自動預払機)・ネットバンキングでも振込み可能ですが、その際は下記の振込依頼書に記載の銀行口座に、振込依頼人欄には整理番号「69」と氏名を記入の上(例 69 ワダイ タロウ)、金額に過不足のないようお願いください。

※振込手数料は、依頼人負担となります。

②「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。

③「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

切り取って、金融機関にお出しください。

C票 振込金受付証明書

令和4年度後期聴講料
(申請書所定欄貼付用)

依頼日	令和	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

収納印のない場合は、無効となります。

収 納 印

(ご依頼人→大学)

B票 振込金領収書(本人保存)

令和4年度後期聴講料

依頼日	令和	年	月	日	
金額	円				
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店				
受取人	普通預金	0766935			
フリガナ	和歌山大学				
受講者氏名					
				振込手数料	円

収 納 印

(取扱店→ご依頼人)

A票 振込依頼書

令和4年度後期聴講料

依頼日	令和	年	月	日
振込先銀行	紀陽銀行	紀の川支店	(普)	0766935
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学			
整理番号	69			
フリガナ				
受講者氏名				
住所				

収 納 印

(取扱店保存)

*金融機関へお願い

- 1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
- 2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

金融機関で切り離してください。

手数料ご依頼人負担

IV. 令和4年度後期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	アグリビジネス論 (Agribusiness Management)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	岸上 光克		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月1日(出) 13:00~17:00	第3回 1月21日(出) 13:00~17:00	
	第2回 10月29日(出) 13:00~17:00		
<p>【授業のねらい・概要】 農業関連産業とも呼ばれているアグリビジネスは、わが国経済のみならず世界経済においても大きな位置を占め、経済発展・成長に重要な影響を与えている。また、食料問題や環境問題などとも深くかかわっている。本授業では、グローバルとローカルの両視点から日本及び世界のアグリビジネスの現状・問題点・課題等について総合的に学習する。</p> <p>【授業計画】</p> <p>第1回① オリエンテーション、アグリビジネスとは何か。 幅広いアグリビジネスの定義を理解するとともに、アグリビジネス論の理解に求められる知識や視点を確認 [予習] 食料・農業・農村問題やアグリビジネスに関する情報収集を行うこと [復習] 今後の食料・農業・農村がどのようになるか将来を予測すること</p> <p>第1回② 日本における家族農業経営の変容と国連「家族農業の10年」 日本における家族農業経営の展開を把握するとともに、国連「家族農業の10年」を確認 [予習] 日本における農業経営の特徴や国連「家族農業の10年」について事前に調べておくこと [復習] 授業で習った以外の白書の内容について確認すること</p> <p>第2回① 企業の農業参入の戦略と理論－政策経緯と現状－ なぜ企業は農業に参入するのかを解説するとともに、政策経緯と現状について確認 [予習] 日本農業経営の変化(法人化の推進や企業参入など)について事前に調べておくこと [復習] 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p> <p>第2回② 企業の農業参入の実態 農業に参入する企業について、特徴的な取り組みを解説 [予習] 農業参入する企業の事例を調べておくこと [復習] 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p> <p>第3回① 「フードテック」の可能性 「フードテック」(食の進化と再定義)を解説とともに、具体的な事例を紹介 [予習] フードテックやそれに取り組む事例を調べておくこと [復習] 授業で習った事例以外の取り組みを確認すること</p> <p>第3回② まとめ、最終課題の作成と提出 これまでの講義内容を踏まえ、これからのアグリビジネスについて検討 [予習] これまでの授業の内容を整理すること [復習] 最終課題を完成させ、提出すること</p> <p>【到達目標】</p> <p>①アグリビジネスの基本的枠組を理解し、説明できる ②アグリビジネスを取り巻く社会経済的環境の変化を理解し、説明できる ③アグリビジネスの基盤となる農業の産業としての特性を理解し、説明できる ④アグリビジネスの社会経済的特性に基づく持続的発展可能性について理解し、説明できる</p> <p>【成績評価の方法】 各回の講義で行った課題の提出(50点)および最終課題の提出(50点)により評価します。</p> <p>【教科書】 特に指定しません。必要に応じて、資料やファイル(データ)を配布します。</p> <p>【参考書・参考文献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・渋谷往男編著「なぜ企業は農業に参入するのか」農林統計出版(2020) ・大仲克俊著「一般企業の農業参入の展開過程と現段階」農林統計出版(2018) ・外村仁監修「フードテック革命」日経BP(2020) <p>この他、授業中に適宜紹介する。</p> <p>【履修上の注意・メッセージ】 授業時に提示された予習課題に自主的に取り組んでください。それを踏まえて、授業で議論をします。 受講生の理解度を見ながら、授業の進捗やトピックの一部を調整することがあります(そのつど説明します)。授業内容や個人差によって変わりますが、予習に1時間、復習に1時間程度の学習を計画してください。</p> <p>【履修をする上で必要な事項】 特になし</p> <p>【授業時間外学習についての指示】 授業時間外学習(予習・復習)については授業計画を参照のこと。</p> <p>※基本的には対面での実施を予定していますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

授業科目名 (英文表記)	経済思想史 (History of Economic Thought)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	阿部 秀二郎		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 10月8日(土) 13:00~17:00	第3回 10月22日(土) 13:00~17:00	
	第2回 10月15日(土) 13:00~17:00		

【授業のねらい・概要】

経済学を構成する経済理論は経済学者によって作られるものですが、経済学者は特定の時代・空間の中で思考しています。このことから経済学はいかに汎用性があるように見えても、普遍的ではありません。一方で、経済学は時代の問題・課題を解決するための手法として利用されていますから、現在使用されている経済学の条件を把握したうえで利用していかなければ、間違った手法になってしまいます。この講義では、経済学者がどのような制約条件に基づいて経済理論を構築しようとしていたのかを時代的・空間的制約を明示することで考察したいと思います。さらに経済学は動的に変化していく現象を考察してきた学問ですから、複数の学問領域の内容が内包されています。これらの歴史について分析することで、履修者は多様な視点から経済学を考察する能力を獲得することができます。

【授業計画】

第1回①

ガイダンス、科目のカリキュラム上の位置づけの説明・授業方法の説明・成績評価方法の説明など
経済学の成立 経済学が成立した背景と時代的條件を考察します

第1回②

階級対立 経済学が階級対立(所得格差)を議論した背景と時代的條件を考察します

第2回①

科学の影響 経済学が科学の影響を受けて展開した背景と時代的條件を考察します

第2回②

社会科学の女王の子供たち

経済学の異端にはどのような考え方があったのか考察します(田辺学派? 和歌山学派?)

第3回①

女王の躓き 経済学が転回する背景と時代的條件を考察します

女王の君臨か失墜か 経済学も他の科学と同様に慣性の法則が存在します。その条件を分析します

第3回②

現在の経済学 現在の経済学とその前提を俯瞰します

まとめ、レポート指示

【到達目標】

履修することで、次のことができることが目標です

- ・履修者は、経済学を経済学者との関係で見ることができるようになる
- ・履修者は、過去の経済学の前提条件を説明することができるようになる
- ・履修者は、現在の経済学の前提条件を探求することができるようになる
- ・履修者は、現在の経済学の特徴を相対的客観的に説明することができるようになる

【成績評価の方法】

授業での質疑応答(40%)、授業への提出物の内容(20%)、レポート(40%)

【教科書】

特にありません

【参考書・参考文献】

授業中に適宜紹介しますが、比較的新しい情報にアクセスすることになると思います

【履修上の注意・メッセージ】

この授業は、その構成において議論を行う時間を予定しています。積極的な質疑応答を望みます

【履修をする上で必要な事項】

南紀熊野サテライトでは対面で、それ以外の地域から参加する場合には同時配信で授業を行います。同時配信を受信する方法として、パソコンとTeamsさらにZoomのアプリをダウンロードしておいてください。さらに質疑応答する場合に、ハウリングが生じないようにイヤホンをご準備ください。

【授業時間外学修についての指示】

授業では、毎回テーマを予習問題として提示しておきます。それらについてMoodleで入力、または紙で提出してもらいます。授業ではそのことについて議論します。その後、復習してもらった内容をMoodleに提出、または紙に書いてもらいます。レポート作成も要求します。これらの時間を総合すると相当な時間の学修が必要となります。

授業科目名 (英文表記)	公益事業論 (Economics of Public Utilities)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	上野 美咲		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 11月5日(土) 13:00~17:00	第3回 11月26日(土) 13:00~17:00	
	第2回 11月19日(土) 13:00~17:00		

【授業のねらい・概要】

公益事業の在り方について官と民の役割分担等の観点から講義・演習を行う。特に、エネルギー分野においては、再生可能でクリーンな自然エネルギーが注目を集めていることを鑑み、地方都市独自のエネルギー産業に着目する。新しい時代の公益事業について理解を深めながら、現実社会で適応する際の課題等について全体で討論したい。上記を学ぶ中で、公益事業を取り巻く様々な課題等を理解し、その課題解決に向けた糸口を導き出す能力を磨くことが学習目標である。

【授業計画】

第1回①

ガイダンス・公益事業の概要

【事前】シラバスを読んでくる。

第1回②

成熟型都市経営

第2回①

持続可能な都市

第2回②

持続可能な開発目標(SDGs)と公益事業Ⅰ

第3回①

SDGsと公益事業Ⅱ

第3回②

SDGsと公益事業Ⅲ・まとめ

【到達目標】

現代の公益事業を取り巻く様々な課題等を理解し、その課題解決に向けた糸口を導き出す能力を身に付けることができる。

【成績評価の方法】

ミニツツペーパー30%、レポート70%。

【教科書】

人口減少時代の都市(諸富徹著, 中央公論新社, ISBN978-4-12-102473-2, 本体800円+税)

【参考書・参考文献】

授業中に適宜紹介する。

【履修上の注意・メッセージ】

- 「和歌山大学ひとり歩き」の133頁「和歌山大学学生の特別な事由による欠席の取扱いに関する要項」は必ず確認しておくこと。
- 他のメンバーに迷惑のかかる行為は控えること。

【履修をする上で必要な事項】

- レポート等の提出はMoodleを通して行う。特別の事情がない限り、レポート等の期限は延長しない。
- 南紀熊野サテライトでは対面で、それ以外の地域から参加する場合には同時配信で授業を行う。同時配信を受信する方法として、Teamsを使用する。

【授業時間外学修についての指示】

各授業内容に沿って事前・事後学習を行うこと(授業内で適宜指示)。

授業科目名 (英文表記)	現代中国経済 (Contemporary China's Economy)		
単位数	1	授業形態	講義・演習
担当教員	金澤 孝彰		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 12月17日(土) 13:00~17:00	第3回 1月7日(土) 13:00~17:00	
	第2回 12月24日(土) 13:00~17:00		

【授業のねらい・概要】

中国共産党第20回党大会以降の中国の国内経済および対外開放の展望と課題についてとりあげる。指定テキストの輪読・討論の他に、開講期間中に中国では毎年恒例の中央経済工作会議が開催される頃になるので、そこで決定される2023年の中国の経済方針もふまえながら中国経済の方向性を考察していくものとする。

【授業計画】

第1回①

ガイダンス、科目のカリキュラム上の位置づけの説明・授業方法の説明・成績評価方法の説明など
経済成長の過去と未来

第1回②

計画経済と市場経済
労働経済と農村経済

第2回①

第14次5カ年計画に関する内容検討(経済の視点から)

第2回②

双循環政策とは何か

第3回①

2022年12月中央経済工作会議に関する内容検討(第20回党大会についてもふれる)
中所得国から高所得国への移行

第3回②

まとめ、レポート指示

【到達目標】

履修することで、次のことができることが目標です。

- ・現在の中国の経済社会の根底を動かしているトレンドの存在について説明することができる。
- ・そのトレンドがどのような影響を与えるのかについて、議論することができる。
- ・今後生じるであろうトレンドについて、想像し、それに対してどのような対応が可能であるのかについて、議論することができる。

【成績評価の方法】

授業に入る前の学修(10%)、授業での議論(40%)、レポート(50%)

【教科書】

丸川知雄『現代中国経済 [新版]』有斐閣アルマ、2021年 **その他論文数点の予定**
科学技術振興機構アジア・太平洋研究センター『中国の双循環(二重循環)戦略と産業・技術政策ーアジアへの影響と対応ー』
(科学技術振興機構の公式サイトからダウンロード可)

【参考書・参考文献】

授業中に適宜紹介しますが、比較的新しい情報にアクセスすることになると思います。

【履修上の注意・メッセージ】

この授業は、その構成において議論を行う時間を予定しています。積極的な質疑応答を望みます。

【履修をする上で必要な事項】

南紀熊野サテライトでは対面で、それ以外の地域から参加する場合には同時配信で授業を行います。同時配信を受信する方法として、パソコンとTeamsアプリをダウンロードしておいてください。さらに質疑応答する場合に、ハウリングが生じないようにイヤホンをご準備ください。

【授業時間外学修についての指示】

授業の前に、見ておいてほしい資料等を提示することもあります。その場合、それに基づき説明と議論を行うこととなります。授業の最後には授業全体を振り返り、レポートを作成してもらいます。

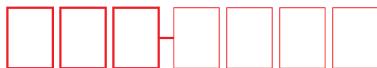
2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	暮らしと法律～よりよく生きる法律入門～ (Life & Law)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	吉田 雅章		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月1日(土) 9:30～14:30	④ 10月22日(土) 9:30～14:30	
	② 10月8日(土) 9:30～14:30	⑤ 10月29日(土) 9:30～14:30	
	③ 10月15日(土) 9:30～14:30	⑥ 11月5日(土) 9:30～14:30	
【授業のねらい・概要】			
<p>わたしたちが日々の暮らしを送るに当たり、好むと好まざるとにかかわらず、法律と関わりを持たないことはないと思われま。そのため、社会生活を営むために法律の知識は不可欠であると考えられます。それにもかかわらず、法律は自分とは関係のない存在であるかのように考えられがちであり、さらに、暗くて近寄りたいたいというような悪いイメージさえ持たれているといっても過言ではありません。その原因として、法律用語の難解さ、法学は無味乾燥であるというイメージ、法律解釈の理屈っぽさなどが考えられますが、この授業では、身近に存在する日々の暮らしの一場面を具体的な例として取り上げて、できるだけわかりやすく説明し、法律がどのように役に立っているか、そして、日常茶飯事でさえ法律抜きでは考えられないということなどを理解してもらうことをねらいとしています。なお、できるだけ多くの法律を解説する予定ではありますが、最もわたしたちの暮らしと密接な関係にあり、それゆえ特に重点を置くのは民法です。その手段として、多くの映画やTV番組等を視聴してもらい、法学の敷居の高さを少しでも低くする工夫をするつもりです。</p>			
【授業計画】 ※あくまでも事前の計画でありまして、受講生の皆さんのご希望に添うように変更するつもりです。			
<p>受講生の皆さんと相談の上、通常の90分授業では不可能なドラマや映画の視聴を組み込みたいと思っています。</p>			
第1回 ガイダンス			
<p>受講生の皆さんと十分に話し合いをして授業計画を再検討し、順番の変更・講義内容の一新化も可能です。</p> <p>6回の講義で取り上げることができるTVドラマや映画などを紹介します。初回のため、事前に受講生の皆さんの希望を聞けませんので、痴漢えん罪事件を取り上げた映画「それでもボクはやってない」を視聴してもらいます。</p>			
第2回 高齢化社会と成年後見制度に関する問題			
<p>人生100年という時代が到来し、認知症の方が失踪して行方不明になることがあります。また、介護をする周囲の方々のご苦労や、お金持ちの認知症の方を狙う後妻業も存在します。さまざまな問題が出てきた高齢化社会を乗り切るべく登場した成年後見制度にも問題があります。</p>			
第3回 消費生活に関する問題			
<p>日常の消費者取引に関するトラブルを取り上げたTV番組は非常に多いので、受講生の皆さんと相談の上、教材として取り上げるドラマ・映画等を決定したいと思います。第4回から第6回でも同様に致します。</p>			
第4回 医療事故や公害に関する問題(民法709条・不法行為に関連する内容です。)			
第5回 離婚に関する問題(子の親権・養育費・財産分与・慰謝料などを考えてもらいます)			
第6回 相続(とりわけ遺産分割協議、自筆証書遺言&公正証書遺言、そして遺留分)に関する問題			
【到達目標】			
<p>トラブルに巻き込まれずに日常生活を送るための法律知識を獲得してもらい、その重要性を理解すること。</p>			
【教科書】			
<p>特に指定はしません。</p>			
【参考書】			
<p>講義時に適宜、紹介します。</p>			
【成績評価方法】			
<p>学部生のみ、出席しての質疑応答、授業態度やレポートなど総合的に評価します。</p>			
【授業時間外学修についての指示】 (学部生は必須ですが、学部開放授業受講者は任意です。)			
<p>ネット・テレビ・新聞等で紹介される色々な法的問題について関心を持って目を通して下さい。</p>			
【履修上の注意・メッセージ】			
<p>基礎知識がなくても理解できるように授業を構成します。ただ、もしも可能であれば、各自でわかりやすい法学入門書などを読んで前理解を深めるようにしておいて下さい。</p>			
<p>※基本的に授業は対面での実施を予定しますが、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインによる遠隔授業を行う場合又は授業を中止する場合があります。オンラインによる授業を行う場合に必要なパソコン、ネット環境は、各自で準備してください。</p>			

授業科目名 (英文表記)	旅人の哲学 ～日本人にとって「旅」とは何であったか～ (An Introduction to Japanese Philosophy : Journey)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	非常勤講師 天野 雅郎		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 10月22日(土) 13:00～17:00	④ 12月10日(土) 13:00～17:00	
	② 11月12日(土) 13:00～17:00	⑤ 12月24日(土) 13:00～17:00	
	③ 11月26日(土) 13:00～17:00	⑥ 1月14日(土) 13:00～17:00	
【授業の概要・ねらい】			
<p>哲学は難しい、という印象を多くの人が持っています。</p> <p>たしかに、哲学は難しく、ひよっとすると全ての学問の中で、もっとも難しい学問であるのかも知れません。が、それと同時に哲学は、いたって易しい、あらゆる人に開かれた学問(と言うよりも、学問以前の学問)であることも事実です。</p> <p>この授業では、そのような哲学の難しさと易しさを、あたかも茶の湯(=茶道)と日常茶飯の両面から、お茶を飲み、ご飯を食べるかのように、皆さんに伝えることが叶えば幸いです。</p> <p>今回のテーマには、旅人を選んでみました。</p> <p>なぜなら、そもそも人は誰しも、誰一人の例外もなく、生まれながらにして旅人であり、その人が実際に、どこかに旅行をしたり、観光をしたりしていなくても、すでに一人の旅人として、いつも旅の途上を生き、生きていかざるをえないからです。——生から死へと、さまざまな生との出会いや、死との出会いを繰り返しながら、人は誰しもが例外なく、その名の通りの旅人(Homo Viator)としての生涯を送っています。</p> <p>日本人は古来、そのようにして「旅」(たび)という語を捉え、そこから多くの、はなはだ優れた文学作品を産み出してきました。</p> <p>この授業では、そのような日本を代表する「旅」の文学の歴史を振り返りながら、そもそも日本人にとって「旅」とは何であったのかを、もう一度、日本人の宗教性や芸術性の原点として辿り直し、そこには現在の私たちの見失い、忘れてしまっている、奥深い「旅人の哲学」が脈打っていることを、皆さんと共に確認するのが狙いです。</p>			
【授業計画】			
第1回：神話の中の旅人 ～「古事記」を中心に～			
第2回：物語の中の旅人 ～「伊勢物語」を中心に～			
第3回：日記の中の旅人 ～「更級日記」を中心に～			
第4回：和歌の中の旅人 ～「山家集」(西行家集)を中心に～			
第5回：俳諧の中の旅人 ～「奥の細道」を中心に～			
第6回：演劇の中の旅人 ～「東海道四谷怪談」を中心に～			
【到達目標】			
日本人が古来、旅と人生との繋がりについて、いかに深い思いを馳せてきたのか、その哲学の一端に触れるのが目標です。			
【教科書】			
教科書として、個別に使用するテキストはありません。			
【参考書】			
膨大な量に及びますので、授業中に適宜、紹介します。			
【授業時間外学修についての指示】			
毎回、中心テーマとなる日本の古典(classic=最上級)について、事前に読んだり、事後に読んだりすることが必要になります。			
【履修上の注意・メッセージ】			
多くの皆さんの、ご参加を期待します。			

郵便はがき

ここに
63円切手を貼付
してください。



住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

令和4年学部開放授業申請書類《後期》受付通知

- 【科目名】 暮らしと法律
 「旅人」の哲学

あなたの令和4年度後期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102

和歌山県立情報交流センターBig・u内

国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し63円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。
2. 63円切手の貼付けの無いものは送付できません。
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。

〈新型コロナウイルスへの対応〉

新型コロナウイルス感染拡大の状況に応じて、本募集要項の日程・内容等が変更される可能性があります。

詳しくは、和歌山大学南紀熊野サテライトホームページで確認してください。

〈気象警報発令時の授業の取扱い〉

授業会場の所在市町村(田辺市)に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページを参照してください。

和歌山大学南紀熊野サテライトホームページ

<https://www.wakayama-u.ac.jp/kii-plus/nanki-kumano/>

〈個人情報の取り扱い〉

本学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人和歌山大学における個人情報の保護に関する規程」等に基づき、厳密に取り扱います。

※なんらかの支援または情報保障が必要な方は、8月5日(金)までに南紀熊野サテライトまでご連絡ください。